

【めむろ未来ミーティング日程4】

令和6年1月10日（水）

13:30～14:35

■参加者 14人

■芽室町 町長、副町長、教育長
政策推進課長、魅力創造課参事
農林課長、環境土木課長

■記録 広報広聴係長

- 1 開会
- 2 町長挨拶
- 3 町からの説明事項
資料1 公共施設再配置構想
資料2 新嵐山スカイパークの在り方
- 4 意見交換

【意見】

新嵐山は最終的に営業できなくなったが、町がしっかり関わって精査していくべきだった。会社に丸投げのように見えた。その中で、今度モンベル社が関わってくるとのことだが、町のものなので、町民に還元する内容で検討してもらい、モンベル社に好き勝手にやらせるのではなく、駄目なところは駄目と言っていきたいと今回と同じようになると思う。

【町長】

公約に新嵐山改革を挙げており、就任した時の新嵐山の経営状況は、冬のスキー客の増減によって毎年変動している状況だった。そのため、通年で利用できるような場所にしたいという思いがあり、結果的にはこうなってしまったが、改革をスタートした。町民の色々な声や意見を結果的にしっかり捉えられなかったというところは反省点としてあるが、一方で夏シーズンには多くの人に来てくれ、良かったという評価もいただいていた。

しかし、経営状況からも去年の7月には第三セクタ

一を諦めるということを決断して、マスコミにも報道された。新嵐山株式会社は令和3年度決算時で7,000万円の欠損金があった。会社の仕組みとしては元々想定している収入の額を経費等から差し引いた額を指定管理委託料として支払っているが、コロナ等の要因もあって収入が下がり、追加で指定管理委託料を支払うことについて9月に議会で否決されてしまった。考えが甘いと思われると思うが、改革によって売上も上がり、欠損金も少なくなっていくだろうと思っていた。しかし、令和4年度決算でも多少の黒字にはなったが、欠損金を大きく減らすことはできなかったため、経営の責任もあるが、第三セクターでこのままやっていくことは難しいだろうと判断した。私としては指定管理期間を1年延ばし、次の担い手にお願いするまでソフトランディングに持っていきたいという思いはあったが、町民の代表である議会の判断で否決になり、責任は大変感じているが倒産という状況になり、現在破産手続きを進めているところである。

7月に第三セクターを諦める判断をした時からモンベル社と協議はさせていただいていた。町の第三セクターを諦め、事業者をお願いする以上、一定のネームバリューや経済的な体力のある事業者に次の担い手になってもらう必要があると考え、その前の6月にモンベル社と町づくりの連携協定を締結していた関係もあり、相談した。誤解していただきたくないのは、そもそもモンベル社をスキー場の次の担い手にするために連携協定を結んだわけではないということ。初めは、新嵐山がこのような状況になったため、連携協定を結びアウトドアのノウハウがあるモンベル社に、スキー場を含めて運営できそうな事業者を紹介いただけないかという相談をするために声をかけたところ、協力するとの話をいただいた。モンベル社はスキー場などの構想づくりや運営のノウハウもあるため、それらを活かしながら今後の再建を考えていきたい。

モンベル社にはランドデザインの策定をお願いしようと考えているが、新たな担い手がモンベル社に決まっているわけではない。これは現在白紙の状態。ただ、モンベル社が全体構想を描くため担い手

になりうる可能性はあるが、モンベル社からは地元
の事業者に担っていただけたところはないと言わ
れている。

スキー場に関しては、この規模のスキー場ではス
キー場単体で黒字にするのは難しい。新嵐山株式会
社の最終年に努力してなんとか少しだけ黒字にはな
ったが続けていくことは難しい。そのため、エリア全
体、あるいは夏の色々な事業を含めてトータル的に
黒字にしていきたいと考えており、そういう意味で
は例えばモンベル社が持つ集客力など使いながら魅
力あるところにしていくことが良いと考え、構想の
策定をお願いしたいと考えているところ。

運営に関して町がしっかり関わっていかないと
いけないという話は伺っている。その点に関しては
大きな反省点はあるので、例えば町民還元につい
ては町として予算をきちんと立ててお金を出してい
くことなども検討したい。

それと、リフトや施設を一旦休止してしまうと、老
朽化が激しくなってしまうため、そのまま居抜き
の状態再開は厳しい。どうなるかわからないが、
継続ということを考えると一定のお金は必要になる。
一部には町民の皆さんの税金を使わなくてはなら
なくなるが、補助制度や交付金制度、あるいはク
ラウドファンディングなどそういったお助けもいた
だきながら、いかに町自体の負担を少なくする
かを考えていきたい。

ランドデザインは町として策定するので、モン
ベル社が提案してきたことを全部鵜呑みにする
のではなく、どんな機能が必要かという町の意
向をしっかり整理して策定してもらいたいと考
えている。

【意見】

第三セクターの代表は佐野副町長だが、第三セ
クターの代表としての意見、難しさを伺いたい。

【副町長】

町が100%出資している会社代表をやらせて
もらっていたが、会社は町からの委託の業務しか
受けていなかった。町が、指定管理者としてこの
場所でこの業務をやってくださいと言った業務
を行い、独自

のサービスなどは町に伺って、許可を得たもの
しかやっていなかった。なので、現場が勝手に
やったとか、好き勝手やりたい放題やった
とかということではない。スキーのスクール
やテナントなどサービスを提供する側と
うまく噛み合わなかったということは
事実であり、私も聞いていた。しかし、
それは新嵐山を改革して変えたいとい
う思いや考え方の違いで、その折
り合いが最初から噛み合わなかつ
たと捉えており、そこは反省して
いる。

会社の経営では、例えば、年間の売
上が1億円あるなかで、サービス
を提供していくので社員を雇用
する。しかし、コロナの影響で
レストランの営業を停止する
ことになり、その分売上が減
少するのに社員は通年で雇用
しなくてはならない。その苦
しさもありながらなんとか持
ちこたえてはいたが、補填も
なく、経営的に苦しい状況だ
った。今年の春までなんとか
営業させていただいて、町長
の判断もあり、第三セクター
はこの指定管理期間中で清
算し、その後次の事業者にバ
トンタッチするという、債権
者を発生させないようなソ
フトランディングを目指して
議会で補正予算を提案した
が、通らなかった。結果、も
う入ってくるお金が無くな
ってしまったので、法的破産
しかなかった。30人以上の
社員を解雇したことは辛い
選択。そういう判断をし、
会社自体は25日に裁判所
主催の債権者集会有り、最
終的な整理はこの夏ぐら
いまでかかると思うので、
そこは私の責任でちゃんと
清算させていきたい。

この3年間の中で当初見込んで
いた売り上げが出せなかつ
たということや、町が掲げる
改革と町民の皆さんなども
含めて色々噛み合わなかつ
たところは大きな反省点
である。

【意見】

新嵐山スカイパークは子ども
の頃から利用していて、町
民の憩いの場という思いを
根強く持っている。子ども
が少ない時代ではあるが、
子どもたちにこそ利用して
もらい、携わってもらおう
ことで、芽室町はいいところ
だと思う気持ちができる。
冬はスキー場、夏はキャンプ、
焼き肉ができる憩いの場
という子ども目線で、それ
が町民目線にも繋がると
思うので、原点に立ち返
って再

建してほしい。

【町長】

今まで良かった部分を残していきたい。町民還元や子ども達のための事業に町がお金をだすことあるかと思う。今までは第三セクターで曖昧な立場だった部分はあると思うので、新たな事業者にも町もしっかり関わって、町内外の方含めて魅力的に感じてもらい来てもらう施設にすることも重要だと考えている。

【意見】

今町長の話聞いていて、本当に理想的な感じだと思った。全てではないが、今までは町民が置いてきぼりになっていた。これでは全く意味がない。正直、自分も行きづらいと思い、改革を始めてから1回も行っていない。気軽にご飯も食べに行けない。大勢で外焼肉もできない。汚れた格好でも行きたいのにお洒落になってしまって行けない。せっかく地元にあるのに寂しいなどと思って見ていた。それと、その時の担当の人たちが色々SNSで発信していた。議会で否決された後のSNSの発信がちよっとがっかりした部分もある。

皆の思いもいろいろあると思うが、とにかく町民目線で、おじいちゃんおばあちゃん、小さい子ども達、その辺りを考えてほしい。町民還元は商工会なども絡めてやっていくべきだと思う。

この再生までの意見交換などを無駄にしないで、再生した時に一回閉めたのが良かったと言われるように頑張っていたきたい。

【町長】

グランドオープンを令和7年4月目標としているが、現実的には難しいかもしれない。相当の時間をかけて今までの反省点や皆さんから言われていることを、どうクリアにしていくかということを整理した上でスタートしないと同じことを繰り返してしまう。一度失敗した私たちができるのかという話もあるかもしれないが、反省点はしっかり反省しているので、そこをどうこれからやっていくか、そこに傾注したい。ただ、町としてもできることは一つの方法だけである。

色々な意見があって180度違う意見もたくさんあるが、これを皆さんが納得するにはできないが、できるだけ多くの方が納得するような方向に向けて案を固めていきたい。町民目線や町民に対してどう還元していくか、気持ちよく使ってもらえるにはどうしたら良いかなど、そういったところを事業者も含め、時間をかけて考えていく必要があると思っている。

【意見】

イベントなど、どんな理由であれ新嵐山に人が寄ってもらうようにすると良いと思う。子どもと山を見るだけに頂上まで登ったこともあるが、それだけでも利用になる。まず人を寄せるような状況を。新嵐山のライトが付いていないのが寂しい。

【町長】

展望台は、会社の管理とは別のため利用できる。古くはなってきたが、日高山脈側の雑木を切ったりして見晴らしが良くなっている。登って見るだけでも価値はあると思う。頂上は水が上がっていないので、例えば上でカフェやれば良いという意見もあるが、環境整備をしないとイケない。

【意見】

冬の運営だけでは黒字にするのは難しいため、キャンプなど夏場に収益を上げられるような体制にしたいということだと思うが、夏の収益を上げるにしても夏場に設置している子どもの遊具やハンモックなどは穴が開いていたり汚れていたりしていた。木の遊具に関しては腐りかけていたり破損しかけていたりしていた。正直ハリボテみたいになってしまうものを作ってしまうぐらいであれば、グランピングもそうだが、至れり尽くせりなキャンプ場で儲けようとするのではなく、平らな土地と水場とトイレさえあればいいようなシンプルなキャンプ場を目指す方が良いのではないかと。設備を置いてあっても全然管理できていなかったら何の意味もない。

レストランも敷居の高さを感じたので、方向性がどうかとは思った。一昔前のお手軽メニューや軽食で良い気がする。

【町長】

色々意見もいただいており、それらを踏まえてどうするかを考えていきたい。前のようなレストランになるかはわからないが、来やすい感じの部分は大事だと思う。地域の方に使われている部分もあるので大事な部分である。話を聞いていると高級にしてほしいという意見はないので、意見を踏まえながら進めていきたい。

【意見】

もっと芽室町は子育てと教育にお金をかけてほしい。まだまだお金のかけ方が足りないと感じる。東川町のTVを見たが、大学進学に一人いくらかお金がもらえ、道外の大学でもお金がもらえるとのことで、移住者も多い。若い人たちにいかに芽室町に住んでもらうか、移住してもらうかはやはり子育てと教育に力を入れるかということだと思う。もちろん年配の方へのお金を削れとは言わないが、子育てと教育に惜しみなくお金を使ってほしい。町の予算にも無駄があると思う。事業を削るのではなく事業の中の無駄を省けばお金が出ると思う。そこを精査してもらった中で、教育、子ども達にお金をかけていただきたい。

【町長】

芽室町は子育てに優しいまちということで、色々な評価はあると思うが、同じ規模ぐらいの町の中では頑張っている方だと思っている。ただ、突出して子育てがしやすい町というところを出すことで移住などに繋がるという部分は正しい意見だと思う。

芽室町は転入、社会増ではプラスになっている。自然減が大きいため人口が減少しているが、なんとか社会増を維持していくところがポイントになると思っている。

民間で区画整理していただいた浄水場近くの20戸程度の土地は既に完売していて、まだまだニーズはあるのでそういう対策はしていきたい。また、医療費では、昔は3歳ぐらいまでの医療費無料だったが、今は高校生まで無料化していて、このくらいの人口規模で高校生まで医療費無料化している自治体はあ

まりない。それと、奨学金の借入に所得制限があったが、制限を撤廃した。

今言われたような無駄なところを削ってということは新しい議論だと思うので考えていきたい。

【意見】

防風林を新しく植え替えたい場合には、伐根して整地して苗木を植えてという作業になるが、その委託費用を助けていただきたい。あまりにも伸びすぎた防風林が見受けられ、ただの雑木状態になっているものもある。先代が築いた防風林に私たちはそのまま乗っかっているだけなので、一気に整理して新たな防風林整備というのも一つの事業かと思う。あまりにも大きすぎるのも見るので、適正な大きさの防風林に植え替える時期かなと思う。

【農林課長】

防風林を切る方が増えている状況ではあるが芽室町としては元に戻したいということで、昨年、川北から始めたモデル事業では植栽の費用、1年目の苗代と植栽代と下刈りの費用を町が全額負担するので防風林を植えてくださいということで進めている。今年度は川南にお話しさせていただいている。ただ、今お話しいただいたような植え替えの観点、既存の防風林の再整備については次の段階と思っている。芽室町に限らず近隣含めて防風林が切られてどんどん減っているというのが現状なので、まずはそこを押し戻したいということで担当課としても地域に入ってご理解深めていこうと思っている。

伸びすぎた防風林の適正な植え替えについては今後、事業を考える参考にさせていただく。

14時35分終了



【MMM 後の Googleform による意見】

嵐山がスキー場として活用できるのはあくまでも雪があるということが前提でありますので昨今の小雪、遅雪も考慮しなければならない。小中学校のスケートリンクでさえも造成にかなり苦勞しています。